

## 夏の終わりの大はしゃぎ

やまもも保育所 芳我 岳陽

「夏だ！海だ！蓮沼だ！」と言っていた時期もあっという間に過ぎ、気がつけば秋の空と鈴虫の声。しかし、まだまだ暑い！水遊びはまだまだ必要ですね…。

水遊びと言えばプールはもちろん、泥遊びや洗濯ごっこ、シャボン玉など様々な遊びを経験してきましたが、より特別な体験を子どもたちにしてもらいたくて、【ボディペインティング】を計画することにしました。

体中に絵の具を塗りたい、アレですね。いろんな保育園が実施している様子を画像検索すると、どこかの島の奇祭のごとく体中を絵の具にまみれさせて、嬉々として遊ぶ子どもたち。こりゃ楽しそうだ！ぜひやってみよう！ということで日にちを決め、保護者の方には捨ててもいいような服を持ってきてもらうようお願いしました。

実施日前日は、子どもたちと一緒に絵の具作り。鍋に片栗粉を水に入れ、かき混ぜて溶かします。カルピスのように見えるのか「美味しそう」「飲みたい」といった声がちらほら。これを少しずつ、ダメにならないように子どもたちに混ぜてもらいました。

それから火にかけ、（ここからは大人！）底が焦げないようにゆっくりとかき混ぜていくと次第にトロミが出てきて、混ぜる木ベラに弾力を感じるようになります。ついにはヤマトのりのような見た目に変化しました。

これを別室でしばらく冷まして、触れる温度になったら洗面器に移し替えます。そしてそこにポスターカラーを加え、よく混ぜれば出来上がり！鮮やかな赤、青、黄の絵の具が完成しました。子ども達も「はやくやりたい！」と待ちきれない様子でした。

当日、テラスに大きな紙を下に敷き、絵の具をセッティング。子ども達も着替えを済まし、さあボディペインティング開始！はしゃげはしゃげ！

…しかし、意外にも最初は皆、様子見で静かな出だし。このヤマトのりでどうやって遊べと？そんな困惑の表情を浮かべる子も。恐る恐る絵の具をつつく子や匂いをかぐ子。大胆に友達の体に付けてみたものの「なにすんの？」的な空気感を出されて気まずくなる子。



泥とは違って、材料は普段なら汚れないよう慎重に扱うべき絵の具。それを体に塗りたくるなんて、人生の中でもやっちゃいけないことランキングトップ10にランクインする所業。おそらく理性の壁に阻まれて、【総・いいのかな状態】に陥っていたのでしょうか。みんな大人だね！

こんな時は大人の出番！先陣を切ってリミッター解除。「うへへー！」と叫びながら子どもたちに絵の具を持って塗りにかかればいっちょ上がり！『そんなこと、して、いいんだね！』スイッチが入り、一気にボルテージUP！それからは気兼ねなく友達と塗ったり塗られたり、紙の上に寝転がって魚拓ならぬ人拓をとる子がいたり。絵の具をこねくり回して感触を楽しんでいる子もいれば、ハケで顔にペイントしている子もいました。普段は汚れを気にするKちゃんも時を忘れて足にぬりぬり…。

楽しかった時間にも終わりは来ます。「洗って中入るよー！」と呼び掛けても、聞こえないふりをしていた子が12名中10人。楽しかったようで何よりでございました。

